

かがわ遠隔医療ネットワーク(K-MIX)と香川県の医療ICT

香川県医師会副会長 小西久典

巻頭言の執筆がまた回って来ました。今回は第六十六巻第三号(平成二十五年八月号)で、K-MIXの現況(システム・機能)とそれまでに至る経緯について述べました。即ち、画像読影支援と医療情報連携から始まった機能に、「脳卒中等クリティカルパス」や「テレビ会議システムによる遠隔医療ネットワーク(ドクターコム)」機能が追加され、香川県が「小豆島をはじめとするかがわ遠隔医療ネットワーク(K-MIX)」を生かした安心の街づくり」をテーマとした「かがわ医療福祉総合特区」に指定されたことをご説明いたしました。前回からまだ一年四ヶ月しか経っていませんが、この間にK-MIX(Kagawa Medical Internet eXchange)は大幅に進歩し、「K-MIX+(Kagawa Medical Information eXchange plus)と成長しました。今回はこの「K-MIX+」と「かがわ医療福祉総合特区の進捗状況」を説明させて頂きます。

従来のK-MIXは参加医療機関同士での画像読影支援と医療情報連携だけで、他医療機関の電子カルテを参照することはできませんでした。ところが、K-MIX+では香川大病院や県立中央病院など香川県内中核十五病院の電子カルテの一部情報(患者基本情報、病名、処方、検査結果、画像)を患者さんの同意を得てK-MIX参加医療機関が参照することが出来ます。既に活発に利用されている先生もおられます。今からK-MIX+を利用されるにはインターネットに接続できるパソコン以外にVPNルーターが必要です。その機器費と設定費用は約十万円ですが、今年度中であれば県から半額補助を受

けられます。未加入の先生方には来年三月までに加入して頂けたらと存じます。

「かがわ医療福祉総合特区の進捗状況」については現在、オリープナースは研修を終え、へき地で活躍中です。へき地薬局も開設しました。また、医療ライブラリー事業も徐々に充実し、香川県医師会ホームページの会員限定ページで県医師会主催の学術講演会を閲覧することが出来ます。

K-MIX+も県と大学と医師会の共同運営です。浜田県知事は本年九月、再選後の「知事所信表明」で「三つの取り組み」を挙げられ、第一番目の「成長する香川」で「・・・希少糖やオリーブ、遠隔医療システムのK-MIXなど香川独自の資源を成長産業に育成・集積して、成長のエンジンを作ります。」と述べられています。

現在、K-MIX+の広報用DVDを作成中です。更に、NHKからK-MIX+を海外に紹介したいとのことで、海外向け番組「NHKワールド」から番組作製の申し出がありました。

来年三月十二日(木)午後七時からJRHホテルクレメント高松に於いてK-MIX意見交換会を開催予定です。K-MIXの生みの親とも言うべき原量宏理事による「香川県のICT」、香川県庁の井下秀樹氏による「新基金によるK-MIX読影支援事業」、STNetによる「K-MIXのクラウド化」などの話題が用意されています。K-MIXはどんどん進化しています。この意見交換会はK-MIX非加入でも参加できますので出来るだけ多くの方にご参加頂きたいと存じます。

香川県医師会誌

第 67 卷

第 5 号

通卷337号

平 成 26 年 12 月

